

大地震に備えよう



南海トラフ地震



南海トラフ巨大地震編 全体版 (17分26秒) - 内閣府共通
ストリーミングシステム
(cao.go.jp)

南海トラフ地震対策編 全体版

わが家の避難ルール



大地震はいつ起こるかわかりません。その時、家族と一緒にいないかもしれません。もしもに備えて、避難する場所、誰と一緒に避難するのか、何を持って避難するのかなどを家族で相談しておきましょう。

集合場所

メモ

停電対策

停電時に自動点灯する電球やライトを日頃から使っていると安心ですね



液状化対策

避難のときは、**運動靴**をはきましょう



いざ避難! 周りに声掛け

リュック (非常持ち出し袋)

自分にとってないと困る物を、自分が持てる重さで備えましょう

懐中電灯、笛、携帯ラジオ、飲料水、タオル、マスク、口腔ケアウェットティッシュ、ビニール袋、携帯用トイレ、常備薬、生理用品、粉ミルク など

- ヘルメット (帽子)、上着
- 携帯電話、充電器、貴重品、現金

地形を知る

重ねるハザードマップ (gsi.go.jp)



砂州・砂丘

波によって打ち上げられた砂や礫、風によって運ばれた砂が堆積することでできる。縁辺部では強い地震によって液状化しやすい。

氾濫平野

洪水で運ばれた砂や泥などが河川周辺に堆積したり、過去の海底が干上がったりしてできる。地盤は海岸に近いほど軟弱で、地震の際にやや揺れやすい。液状化のリスクがある。

台地・段丘

周囲が侵食により削られて取り残されてできる。地盤は良く、地震の揺れや液状化のリスクは小さい。

崖・段丘崖

台地の縁にある極めて急な斜面や、山地や海岸沿いなどの岩場。

旧河道

かつて河川の流路だった場所で、流路の移動によって河川から切り離されて、その後には砂や泥などで埋められてできる。地盤が軟弱で、地震の際は揺れが大きくなりやすい。液状化のリスクが大きい。

旧水部

過去の地形図などから水部であったと確認できる土地。その後の土砂の堆積や土木工事により陸地になったところ。地盤が軟弱である。液状化のリスクが大きい。

土地の成り立ちを知っていることも大事なんだね

普段から準備と点検をしないとね。家の中も整えよう。

家の中の安全空間づくり

●室内の家具が倒れたり物が落ちてきたりして、けがをしないように**家具を固定したり、配置や収納の仕方を工夫**しましょう。特に寝ているときに頭上に物が落ちてこないようにしましょう。

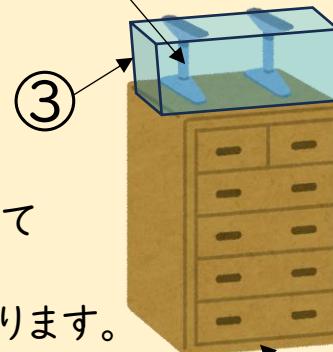
家具固定

3点どめのすすめ

家具転倒防止グッズをつかった固定①②に加えて隙間を埋める方法③も併せて使うと効果があがります。

③には軽めのものを用意しましょう。

① 家具固定ポール (突っ張り棒)



② ストッパー

家庭の備蓄

ローリングストックで備えよう

備える

非常食を取り入れて普段使う量より少し多めに用意します

買ったす

使った分だけ補充

使う

期限の近いものから順に使用します

